

**TamaHome®**

**2017年5月期 第3四半期  
決算説明補足資料**

タマホーム株式会社 < 1419 >  
2017年4月14日

目次

1. 発表のポイント (P. 3)
2. 受注実績 (P. 4)
3. 売上高実績 (P. 5)
4. 営業利益実績 (P. 6)
5. 住宅事業セグメント実績 (P. 7)
6. 非住宅事業セグメント実績 (P. 8)
7. 連結損益計算書(P/L) (P. 9)
8. 連結貸借対照表(B/S) (P. 10)
9. 2017年5月期通期見通し (P. 11)

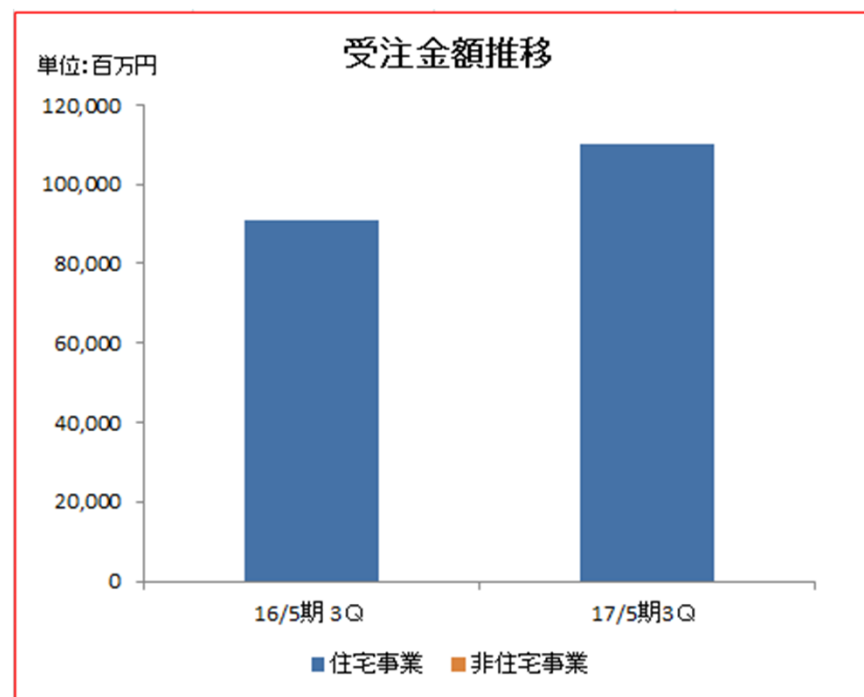
## 1. 発表のポイント

- 上期に続き、注文住宅の受注が前年同期を上回り、注文住宅の引渡棟数も増加
- リフォーム事業の受注・引渡しも好調
- ベーシックライン(低価格帯商品)は「シフクいえ」を1月から販売開始

2. 受注実績

- 住宅事業は上期に引き続き、好調に推移。注文住宅は金額ベースで前年同期比117.9%
- ベーシックラインは当期累計719棟受注。「シフクノいえ」を1月から販売
- リフォーム事業は上期に続き、当社既存のお客様をメインに活動

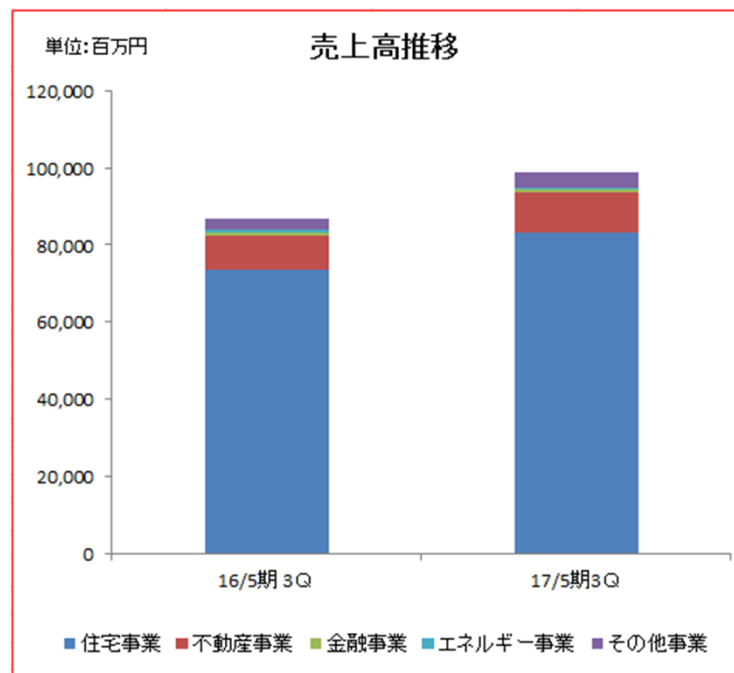
(単位:百万円)	受注金額		
	16/5期 3Q	17/5期 3Q	前期比
住宅事業 計	91,157	110,219	120.9%
注文住宅	90,646	106,905	117.9%
(棟数)	5,142	6,346	123.4%
賃貸住宅	0	0	-
リフォーム	510	3,313	649.6%
非住宅事業 計	0	0	-
総 計	91,158	110,219	120.9%



## 3. 売上高実績

- 住宅事業は、受注増に伴い引渡棟数が増加、ベーシックラインは当期累計205棟販売。また、リフォーム事業も好調を維持
- 不動産事業は、戸建分譲の販売およびサブリースが堅調に推移、マンション販売は引渡し戸数の増加により増収
- 金融事業は、2016年10月から10年超の火災保険販売が停止されたことによる単価下落の影響で、前年同期比で減収
- エネルギー事業は、当上半期に続き好天が続いたことにより、好調を維持
- その他事業は、上半期に続き、引渡棟数の増加に伴う住宅周辺事業の好調な推移により増収

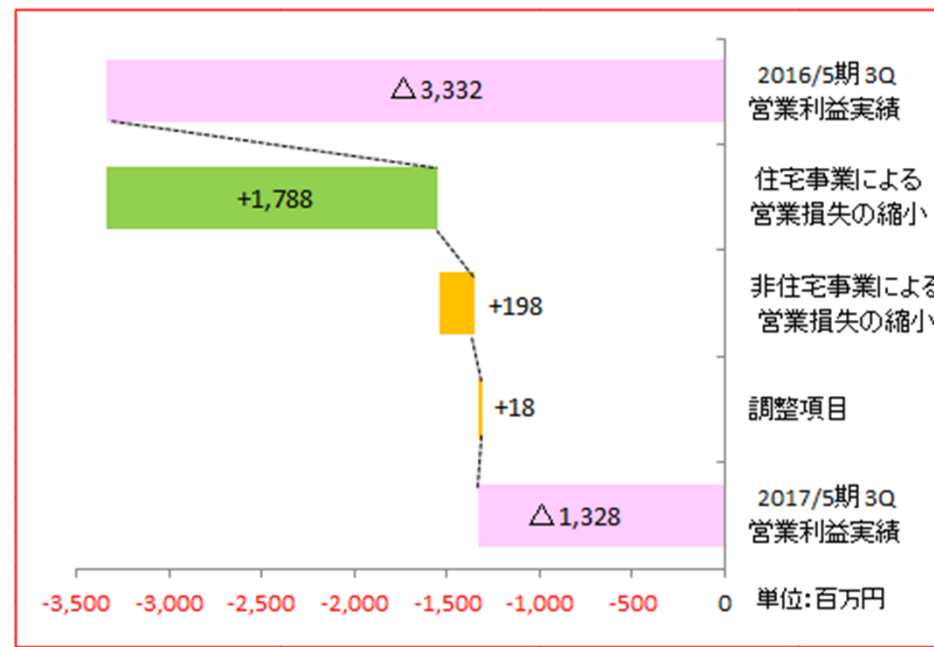
(単位:百万円)	売上金額		
	16/5期 3Q	17/5期 3Q	前期比
住宅事業 計	73,679	83,040	112.7%
非住宅事業 計	13,320	15,722	118.0%
不動産事業	8,833	10,648	120.5%
金融事業	891	720	80.8%
エネルギー事業	601	631	105.0%
その他事業	2,995	3,722	124.3%
総計	87,000	98,762	113.5%



## 4. 営業利益実績

- 住宅事業は、注文住宅の引渡棟数が前年同期比11.4%増加、リフォーム事業の拡大により損失幅縮小
- 不動産事業は、戸建分譲の販売が堅調に推移、福岡県久留米市の分譲マンションの引渡しが進み増益
- 金融事業は、火災保険の付保率高水準維持も、10年超商品の販売停止による単価下落が影響し減益
- エネルギー事業は、当上半期に続き好天による発電量の増加に伴い増益
- その他事業は、引渡棟数の増加に伴い住宅周辺事業が好調に推移し、損失幅縮小

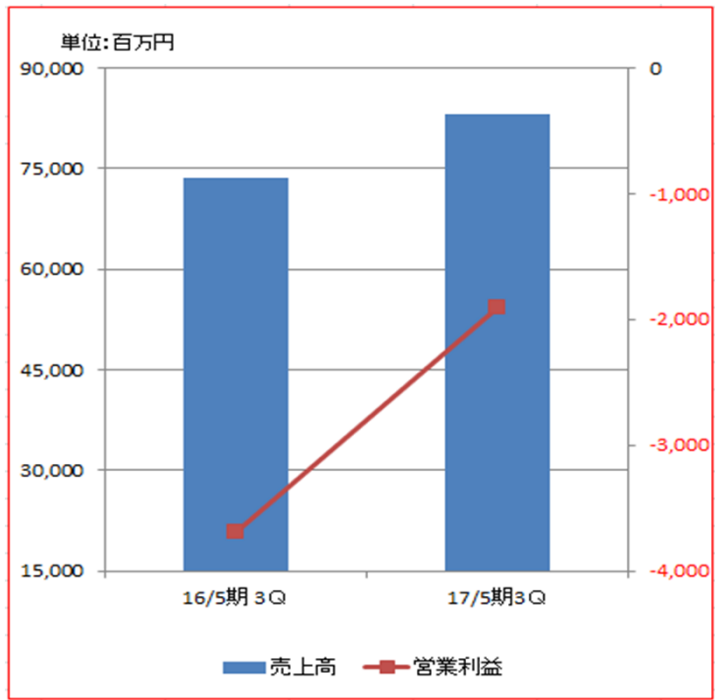
(単位:百万円)	営業利益		
	16/5期 3Q	17/5期 3Q	前期比
住宅事業 計	-3,688	-1,900	-
非住宅事業 計	349	548	157.0%
不動産事業	306	525	171.6%
金融事業	398	216	54.3%
エネルギー事業	213	219	102.8%
その他事業	-568	-413	-
調整額	6	24	400.0%
総計	-3,332	-1,328	-



5. 住宅事業セグメント実績

- 売上高 : 83,040百万円(前年同期比 12.7%増)
- 営業損失 : 1,900百万円(前年同期営業損失3,688百万円)

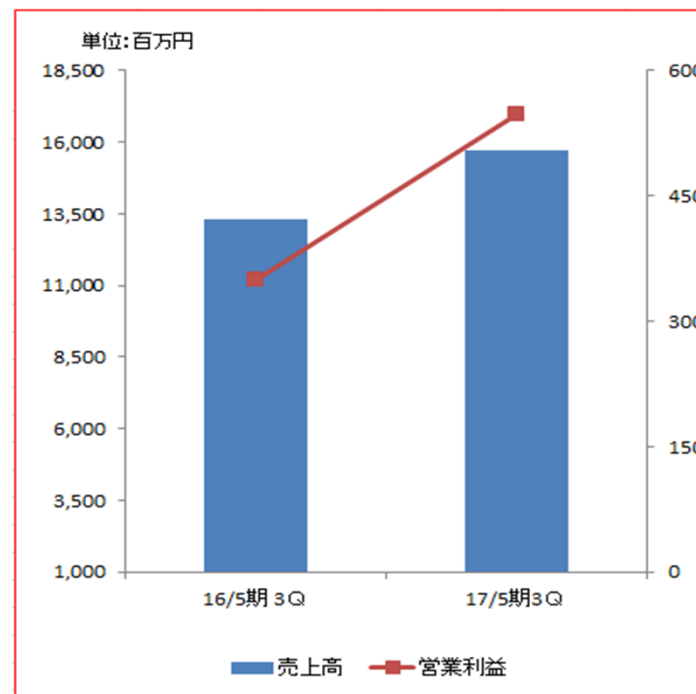
- 注文住宅の引渡棟数が増加  
 (2016/5期 3Q) 4,067棟  
 (2017/5期 3Q) 4,532棟
- 注文住宅平均販売単価は、ほぼ横ばい  
 (2016/5期 3Q) 1,784万円  
 (2017/5期 3Q) 1,745万円  
 参考(2016/5期 通期) 1,779万円
- モデルハウス出店と既存店リニューアル  
 移転による出店 2店舗  
 リニューアル 39店舗  
 2017/5期 3Q末店舗数 238店舗(連結)



6. 非住宅事業セグメント実績

- 売上高 : 15,722百万円(前年同期比 18.0%増)
- 営業利益 : 548百万円(前年同期比 57.0%増)

- 不動産事業
  - ・戸建分譲の販売およびサブリースが堅調に推移し、マンション販売は引渡し戸数の増加により増収増益
- 金融事業
  - ・火災保険の長期契約保険の販売停止により平均単価が下がり、減収減益
- エネルギー事業
  - ・好天による発電量の増加に伴って、増収増益
- その他事業
  - ・注文住宅事業における引渡棟数の増加に伴ってインテリア販売など住宅周辺事業が好調に推移し、損失幅縮小





## 7. 連結損益計算書 (P/L)

- 売上総利益率 25.7% : 収益性の高いリフォーム事業を含む住宅事業が貢献し、前年同期の25.5%から上昇
- 営業損失 1,328百万円 : 受注増に伴い引渡棟数の増加およびリフォーム事業が牽引し、損失幅縮小

(単位:百万円)	2016/5期 3Q	2017/5期 3Q	増減	前期比
売上高	87,000	98,762	11,762	113.5%
売上総利益	22,207	25,385	3,178	114.3%
利益率	25.5%	25.7%	0.2%	-
営業利益	-3,332	-1,328	2,004	-
利益率	-	-	-	-
経常利益	-3,952	-1,639	2,313	-
利益率	-	-	-	-
税引前四半期純利益	-4,160	-1,794	2,366	-
利益率	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-3,341	-1,851	1,490	-
利益率	-	-	-	-

## 8. 連結貸借対照表 (B/S)

- 資産 : 手持棟数の増加により、営業貸付金及びたな卸資産(未成工事支出金、販売用不動産)が増加
- 負債 : 手持棟数の増加により、未成工事受入金が増加

(単位:百万円)	2016/5期4Q	2017/5期3Q	増減	(単位:百万円)	2016/5期4Q	2017/5期3Q	増減
流動資産	52,640	64,584	11,943	負債合計	70,334	83,482	13,147
現金・預金	26,566	27,611	1,045	支払手形 工事未払金等	19,149	15,746	-3,402
受取手形・完成工事未 収入金等・営業貸付金	3,609	6,016	2,407	短期有利子負債	13,118	15,575	2,456
たな卸資産	19,053	27,697	8,643	未成工事受入金	12,649	24,778	12,128
その他流動資産	3,411	3,258	-152	長期有利子負債	16,033	19,132	3,099
固定資産	31,225	30,204	-1,020	その他負債	9,383	8,249	-1,134
有形固定資産	25,432	24,439	-993	純資産合計	13,531	11,306	-2,224
無形固定資産	418	382	-36	株主資本	12,968	10,817	-2,151
投資有価証券	1,256	1,408	151	その他包括利益累計額	344	328	-16
その他投資等	4,117	3,975	-142	非支配株主持分	217	160	-56
資産合計	83,866	94,789	10,922	負債及び純資産合計	83,866	94,789	10,922

## 10. 2017年5月期 見通し

- 2017年5月期通期業績については、2016年7月15日発表の予想数値から変更はございません。

(単位:百万円)	2016/5期 3Q	2017/5期 3Q	2017/5期 通期計画
売上高	87,000	98,762	158,800
営業利益	-3,332	-1,328	3,200
利益率	-	-	2.0%
経常利益	-3,952	-1,639	2,400
利益率	-	-	1.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	-3,341	-1,851	500
利益率	-	-	0.3%

TamaHome®

< お問い合わせ先 >

タマホーム株式会社 経営企画部広報・IR課

TEL : 03-6408-1200

<http://www.tamahome.jp/>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向および市場環境や当社の関連する業界の動向、その他内部・外部要因により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。